

四国国際物流戦略チーム 第1回幹事会議事概要

主要議事、出された主な意見

- ・ バルク貨物の輸出入の偏り（輸出＜輸入）について、このままでよいか。（輸出を増やすべきでは）（井原座長）
- ・ 戦略チームでは、港湾・空港・道路を通じたトータルな視点で考えることが重要（井原座長）
- ・ ハード整備は勿論であるが、これからは既存ストックの活用、ソフト化戦略がより一層重要になってくる。（井原座長）
- ・ 韓国の港のIT化への対応が目覚ましい。四国の港もこのような点を改良し使い勝手の向上を。（井原座長）
- ・ 国際物流の起終点はトラック。国際物流の効率化のために8の字ルートの延伸、アクセス道路の整備を要望する。（四国トラック協会 吉澤氏）
- ・ 8の字完成による経済構造（円安くなった・・・等）の変化を示してほしい。（井原座長）
- ・ 地方港の国際航路開設は一段落し、これからは個別の港について役割分担が求められる。（井原座長）
- ・ 四国を本社に持つ製造業が限定的であるためロットの確保が難しい。このため神戸で混載しているのでは。（混載して）四国でロットをまとめられないか、仮説を立ててみる必要がある。（神田氏）
- ・ アンケートはまだ羅列状態。もう少し分析するとともに個別の要望を整理し、四国全体の課題としてまとめていく必要がある。（井原座長）

【主要キーワード】

- ・ 既存ストックの活用
- ・ IT化などソフト化戦略
- ・ 8の字ネットワークの延伸
- ・ 港湾・空港へのアクセス道路の整備
- ・ 混載によるロットの確保
- ・ 港の役割分担（集約化）